

2024年度心理臨床センター活動報告

1. 開室状況

開室日数は239日（月平均19.9日）、勤務のべ人数は1614人（月平均135人）だった。

2. 電話対応状況

電話対応の内訳は Table 1のとおりだった。

3. 相談件数

年間の相談受理件数は33件だった。^{注1)}年間の相談件数はのべ471件（月平均39.3件）だった。

各月における面接形態の内訳を Table 2に示す。なお、2024年度に実施した心理検査を Table 3に示す。

注1) 2023年度以降は再開希望ケースを含む件数

Table 1 電話対応の内訳

月	新規申込	継続予約	中止・変更	紹介	その他	合計
4月	3	7	4	0	25	39
5月	2	2	6	0	18	28
6月	1	8	6	0	11	26
7月	2	11	9	0	24	46
8月	6	6	13	0	11	36
9月	5	5	5	0	5	20
10月	4	5	8	0	11	28
11月	0	2	7	0	6	15
12月	1	8	10	0	7	26
1月	1	6	7	0	7	21
2月	0	8	8	0	7	23
3月	11	3	5	0	17	36
合計	36	71	88	0	149	344
月平均	3.0	5.9	7.3	0.0	12.4	28.7

Table 2 相談の内訳

月	初回面接	初回 オンライン	心理相談	心理相談 オンライン	並行面接	心理査定	その他	合計
4月	0	0	18	13	2	0	0	33
5月	1	0	26	7	0	2	0	36
6月	2	0	26	9	0	0	0	37
7月	0	0	31	8	0	1	0	40
8月	2	0	24	5	1	3	0	35
9月	3	0	30	8	1	0	0	42
10月	4	0	33	8	3	0	0	48
11月	4	0	24	5	4	0	2	39
12月	0	0	25	6	3	0	1	35
1月	0	0	23	9	3	15	1	51
2月	0	0	24	5	4	0	0	33
3月	3	0	28	5	6	0	0	42
合計	19	0	312	88	27	21	4	471
月平均	1.6	0.0	26.0	7.3	2.3	1.8	0.3	39.3

Table 3 2024年度に実施した心理検査

	検査名	実施数
AAQ-II:	Acceptance and Action Questionnaire-II	7
ADIS:	Anxiety Disorders Interview Schedule for DSM-IV	31
BDI-II:	Beck Depression Inventory-II	4
CAARS:	Conner's Adult ADHD Rating Scales	1
CCES:	Children's Cognitive Error Scale	30
CDI:	Children's Depression Inventory	30
CFQ:	Cognitive Fusion Questionnaire	7
CONNERS 3 日本語版		1
DAM:	グッドイナフ人物画知能検査	1
DSRS-C:	Depression Self-Rating Scale for Children	30
FASA:	Family Accommodation Scale-Anxiety	30
FASA-CR:	Family Accommodation Scale for Anxiety-Children report	30
GAD-7:	Generalized Anxiety Disorder 7-item scale	12
ISI:	Insomnia Severity Index	12
KFD:	Kinetic family drawing 動的家族画	1
心の理論課題		1
MEDSCI:	Manic Episode Diagnostic Screening Inventory	12
M.I.N.I.:	Mini-International Neuropsychiatric Interview	3
PARS-TR:	Parent-interview ASD Rating Scale-Text Revision	1
P-F スタディ:	Picture Frustration Study	2
PHQ-9:	Patient Health Questionnaire-9	12
Rorschach Test		15
SCAS:	Spence Children's Anxiety Scale	30
SCAS-P:	Parent Version of the Spence Children's Anxiety Scale	30
新版 STAI:	State-Trait Anxiety Inventory-JYZ	8
新版 TEG-3:	Tokyo University Egogram-New Ver.3	1
SRS-2:	Social Responsiveness Scale Second Edition	1
VQ:	Valuing Questionnaire	5
WISC-V:	Wechsler Intelligence Scale for Children-V	3
全検査合計		351

4. 相談者内訳

相談者の内訳は Figure 1-3のとおりだった。

Figure 1 相談者の男女比

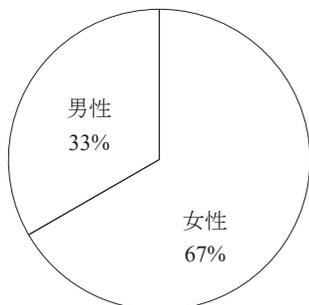


Figure 2 相談者の年齢層

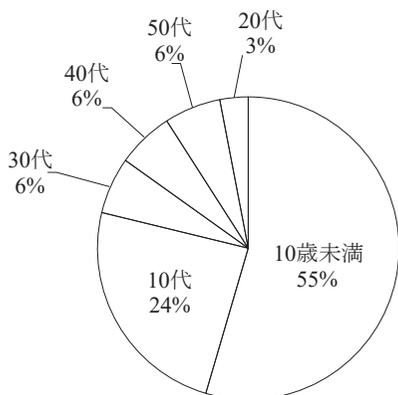
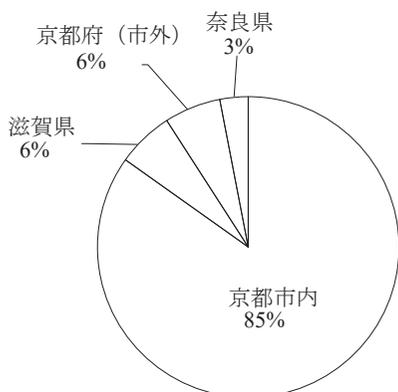


Figure 3 相談者の居住地域



5. 主訴内訳

主訴の内訳は Table 4のとおりだった。

Table 4 主訴の内訳（件数）

子どもの発達・不安	28
うつ・不安	1
家族関係	3
対人関係	1
合計	33

（複数回答なし）

6. 来所経緯

相談者が本学心理臨床センターを知った経緯は Table 5のとおりだった。

Table 5 来談経緯（件数）

ホームページ	9
知人より紹介	4
学校より紹介	16
病院より紹介	0
新聞広告	1
パンフレット	0
その他	5
合計	35

（複数回答あり）

7. 特別プログラム実施状況

2024年度には1つの特別プログラムが実施され（Table 6）、相談研修員が臨床と研究を学ぶ機会となった。

Table 6 2024年度実施特別プログラム

プログラム	面接数 ^{注1)}
CBT キッズ： 子どもの不安改善プログラム	88
合計	88

注1) 面接数は初回，継続，査定の合計を指す

8. 実習実績

博士課程前期課程14名の相談研修員が在籍し、本学心理臨床センター内における臨床実習の総時間は318.5時間、一人あたりの平均実習時間は22.75時間だった(スーパーバイズに必要な時間を含まない)。実習形態はTable 7のとおりだった。

Table 7 実習形態の内訳

面接担当 ^{注1)}	122.0
面接陪席 ^{注2)}	159.0
プレイ	2.0
検査	6.0
受付	3.5
その他	26.0
合計	318.5

注1) ケースでの主担当を指す

注2) 面接室での同席,あるいはカメラシステムを介した観察を指す

9. 広報活動

「CBT キッズ：子どもの不安改善プログラム」
 広告掲載(リビング京都, 3月1日)

10. 心理臨床センター委員会

第1回

日時 2025年3月19日(水)
 場所 神学館会議室
 出席者 青山 謙二郎(センター長), 興津 真理子(副センター長), 玉井 史絵(学生支援機構長), 柿本 昭人(教育支援機構長), 山口 数宏(人事部長), 上田 喜一(心理学部・心理学研究科事務室事務長, 以下事務長と記載)

11. 心理臨床センター運営委員会

第1回

日時 2024年4月10日(水)
 13:00-14:05
 場所 尋真館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓, 武藤 崇, 興津 真理子(副センター長), 大屋 藍子, 杉若 弘子, 鈴木田 英里, 笹川 宏樹, 八木 安理子, 金 逸蓉, 米澤 里奈, 樋口 由紀子, 平岩 洋平(事務長)

第2回

日時 2024年4月24日(水)
 13:00-13:46
 場所 尋真館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓, 武藤 崇, 興津 真理子(副センター長), 杉若 弘子, 鈴木田 英里, 笹川 宏樹, 八木 安理子, 金 逸蓉, 米澤 里奈, 樋口 由紀子, 平岩 洋平(事務長)

第3回

日時 2024年5月15日(水)
 13:00-13:55
 場所 尋真館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓, 武藤 崇, 大屋 藍子, 杉若 弘子, 鈴木田 英里, 笹川 宏樹, 八木 安理子, 金 逸蓉, 米澤 里奈, 樋口 由紀子, 上田 喜一(事務長)

第4回

日時 2024年5月29日(水)
 13:00-13:27
 場所 尋真館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓, 武藤 崇, 興津 真理子(副センター長), 鈴木田 英里, 笹川 宏樹, 八木 安理子, 金 逸蓉, 米澤 里奈, 樋口 由紀子, 上田 喜一(事務長)

2024年度心理臨床センター活動報告

第5回

日時 2024年6月26日 (水)
13:00-14:51
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓,
武藤 崇, 興津 真理子(副センター
長), 大屋 藍子, 杉若 弘子, 鈴木
田 英里, 笹川 宏樹, 八木 安理子,
金 逸蓉, 米澤 里奈, 樋口 由紀子,
上田 喜一 (事務長)

第6回

日時 2024年7月10日 (水)
13:00-14:30
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓,
武藤 崇, 興津 真理子(副センター
長), 杉若 弘子, 鈴木田 英里,
八木 安理子, 金 逸蓉, 米澤 里奈,
樋口 由紀子, 上田 喜一 (事務長)

第7回

日時 2024年9月25日 (水)
13:00-14:22
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓,
武藤 崇, 興津 真理子(副センター
長), 大屋 藍子, 杉若 弘子, 鈴木
田 英里, 笹川 宏樹, 八木 安理子,
金 逸蓉, 米澤 里奈, 樋口 由紀子,
上田 喜一 (事務長)

第8回

日時 2024年10月30日 (水)
13:00-14:20
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓,
興津 真理子 (副センター長), 大
屋 藍子, 杉若 弘子, 鈴木田 英里,
八木 安理子, 金 逸蓉, 米澤 里奈,
樋口 由紀子, 上田 喜一 (事務長)

第9回

日時 2024年11月13日 (水)
13:00-13:51

場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 神原 広平, 毛利 真弓, 武藤 崇,
興津 真理子 (副センター長), 大
屋 藍子, 杉若 弘子, 鈴木田 英里,
笹川 宏樹, 八木 安理子, 金 逸蓉,
米澤 里奈, 樋口 由紀子, 上田 喜
一 (事務長)

第10回

日時 2024年12月11日 (水)
13:00-14:17
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓,
武藤 崇, 興津 真理子(副センター
長), 大屋 藍子, 杉若 弘子, 鈴木
田 英里, 笹川 宏樹, 八木 安理子,
金 逸蓉, 米澤 里奈, 樋口 由紀子,
上田 喜一 (事務長)

第11回

日時 2025年1月29日 (水)
13:00-15:04
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓,
武藤 崇, 興津 真理子(副センター
長), 杉若 弘子, 鈴木田 英里, 八
木 安理子, 金 逸蓉, 米澤 里奈,
樋口 由紀子, 上田 喜一 (事務長)

第12回

日時 2025年3月5日 (水)
13:00-14:15
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓,
興津 真理子 (副センター長), 大
屋 藍子, 杉若 弘子, 鈴木田 英里,
笹川 宏樹, 八木 安理子, 金 逸蓉,
米澤 里奈, 樋口 由紀子, 上田 喜
一 (事務長)

12. 研究活動

刊行物 (著書・論文等)

東 遥菜・長田 葉奈・寺川 和志・武藤 崇 身

- 体醜形懸念を持つ女子大学生に対する脱フュージョン・エクササイズへの介入効果の検討 心理臨床科学, 14, 3-14.
- 馬場 天信・平岡 薫・興津 真理子 学童期における家族内での食卓体験と青年期における摂食障害傾向との関連性——食卓経験尺度の信頼性・妥当性の検討—— 追手門学院大学心理学部紀要, 19, 21-37.
- 船津 萌実・嶋 大樹・武藤 崇 月経前症候群による社会的症状の有無と心理的柔軟性の関連性 認知行動療法研究, 50 (2), 101-109.
<https://doi.org/10.24468/jjbct.23-009>
- 秦 一士・安井 知己 (編著) 青木 佐奈枝・上松 幸一・笹川 宏樹・佐藤 秀行・鈴木 常元 P-F スタディ 学生用 スコアリング・マニュアル 三京房
- 石川 信一 不安心配が強い子どもへの認知行動療法——子どもの不安を見逃さない—— LD ADHD & ASD, 37, 50-51.
- 石川 信一 不安心配が強い子どもへの認知行動療法——子どもの不安を和らげるには—— LD ADHD & ASD, 38, 52-53.
- 石川 信一 不安心配が強い子どもへの認知行動療法——教室で行う予防的取り組み—— LD ADHD & ASD, 39, 50-51.
- 石川 信一 不安心配が強い子どもへの認知行動療法——発達障害と不安—— LD ADHD & ASD, 40, 54-55.
- 石川 信一 ほんとの対話——CBTによるシングル・セッション・セラピー入門—— ころの科学, 235, 94.
- 石川 信一・岸田 広平・藤里 紘子・高橋 高入・松原 耕平・笹川 智子 治療から予防に活かす子どもの認知行動療法——実践研究の成果と課題—— 認知療法研究, 17 (2), 210-216.
- 石川 信一 子どもが不安に感じていることについて話してもらうには——認知行動療法の視点から—— 子育て支援と心理臨床, 24, 30-34.
- 石川 信一 「ころあつぷタイム」を通じた子どもの心理支援 実践みんなの特別支援教育, 52 (11), 10-13.
- 石川 信一 子どもの不安症とその対応 実践みんなの特別支援教育, 53 (3), 22-26.
- Kambara, K., Hihara, S., & Umegaki, Y. Ruminative Processing Mode Exacerbates Avoidance Behaviors in Individuals with Dysphoria. *International Journal of Cognitive Behavioral Therapy*, 18, 320-333.
<https://doi.org/10.1007/s41811-025-00233-8>
- Kambara, K., Toya, A., Lee, S., Shimizu, H., Abe, K., Shigematsu, J., Zhang, Q., Abe, Natsuki., Hayase, R., Abe, Nobuhito., Nakai, R., Aoki, S., Asano, K., Asano, R., Fujimura, M., Fukui, K., Fukumoto, Y., Furutani, K., Hasegawa, K., ... Nakashima, K. Can online interactions reduce loneliness in young adults during university closures in Japan? The directed acyclic graphs approach. *Asian Journal of Social Psychology*.
<https://doi.org/10.1111/ajsp.12658>
- 川崎 紗和子・木原 陽子・津田 征海・岸田 広平・松原 耕平・石川 信一 COVID-19の影響下における親子間のメンタルヘルスについての縦断調査 同志社心理, 71, 1-11.
- 木原 陽子・石川 信一 大学生を対象とした自閉スペクトラム症疑似体験を通じたインクルージョンプログラム (Inclusion Program through ASD Simulation: I-PAS) の効果 LD 研究, 34, 55-67.
- 岸田 広平・佐藤 寛・石川 信一 子どもの反抗挑発症に対する認知行動療法の Proof-of-concept 試験——怒りに特徴的な認知の変容可能性—— 認知療法研究, 17 (2), 234-244.
- Kishida, K., Tsuda, M., & Ishikawa, S. Psychometric Properties of the

- Japanese Version of the Disruptive Behavior Disorders Rating Scale Reported by Parents. *International Journal for the Advancement of Counselling*, 47, 459-477.
<https://doi.org/10.1007/s10447-025-09593-4>
 眞鍋 一水・日原 尚吾・水崎 一良・神原 広平・藤本 隆士 新型コロナウイルス感染症流行中にある高等専門学校において実施したストレスマネジメント教育と学生の精神的健康の変化との関連 保健医療科学, 73, 391-400.
- 松川 昌憲 思考からの脱却——聞き分けよ, さらば驚かん 心理学ワールド, 105, 44.
- 松野 航大・嶋 大樹・原 真太郎 すいすい学べる認知行動療法——行動療法の基本と認知療法, マインドフルネス—— ナカニシヤ出版
- 毛利 真弓 刑務所に回復共同体をつくる 青土社
- 毛利 真弓・藤岡 淳子 学校に対話と尊重の文化をつくる：修復的実践プレイブック（翻訳）明石書店
- 毛利 真弓 動的保安に占める心理及び社会福祉専門職の役割 社会福祉研究, 151, 53-62.
- 中西 彩巴・鬼山 竜太郎・鈴木 友貴穂・武藤 崇 心理的ウェルビーイングが価値の明確化で向上するのはなぜか 心理臨床科学, 14, 15-23.
- Ohashi, S., Urao, Y., Fujiwara, K., Koshihara, T., Ishikawa, S., & Shimizu, E. Feasibility study of the e-learning version of the “Journey of the Brave:” a universal anxiety-prevention program based on cognitive behavioral therapy. *BMC psychiatry*, 24(1), 806.
<https://doi.org/10.1186/s12888-024-06264-3>
- ポーター 倫子・山根 隆宏・鈴木田 英里 自閉症児, その他の障害児, 定型発達児の母親のコーピング方略の違い 北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要, 17, 1-9.
- Shigematsu, J., Hako, S., Toyokuni, C., Kambara, K., Tanabe, S., Machino, A., Takebayashi, M., & Ogata, A. Moderating effect of self-compassion in the association of automatic thoughts and rumination with burnout among nursing students. *Current Psychology*, 43(47), 36306-36314.
<https://doi.org/10.1007/s12144-024-07062-6>
- 嶋 大樹・熊野 宏昭・高橋 徹 自閉スペクトラム症の特徴を持つうつ病患者に対する行動活性化——マインドフルネスと価値の明確化の相互作用による補強—— 認知療法研究, 17(2), 266-275.
- 鈴木田 英里 発達障害児をもつ家族の家族レジリエンスを促進する支援に関する研究 Precision Medicine (4月号), 43-47.
- 立川 彩優・石川 信一 中学生のレジリエンス向上に対する問題解決スキルトレーニングの効果検討 心理臨床科学, 14, 25-35.
- 田辺 紗矢佳・宮里 琉真・波光 涼風・松本 美涼・重松 潤・神原 広平・町野 彰彦・竹林 実・尾形 明子 看護学生のバーンアウト予防に対するセルフ・コンパッション介入の効果検討 日本看護科学会誌, 44, 239-248.
<https://doi.org/10.5630/jans.44.239>
- 辻本 悠・佐々木 淳 完全主義社会的断絶モデルにおける完全主義的自己呈示の役割 パーソナリティ研究, 34(1), 37-48.
- 八木 安理子 市町村児童福祉からみた「子どものこころを聴く」ということ 子育て支援と心理臨床, 24, 23-28.
- 山根 隆宏・鈴木田 英里・野上 慶子・劉 娟 日本版幼児用遊び尺度 (PPBS-J) の作成 神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要, 18(2), 145-154.

学会活動

安藤 香織・杉浦 淳吉・Kim-Pong Tam・

Gundula Hübner・神原 歩・安原 彰子・
辻本 悠・大沼 進 説得納得ゲーム参加は
他者の環境問題への関心の認知, 会話意図
を変化させるか: ドイツ, 香港, 日本の比
較 (日本シミュレーション&ゲーミング学
会2024年秋期全国大会, 口頭発表, 11月)

東 遥菜・武藤 崇 身体醜形懸念を有する女子
大学生に対するアクセプタンス & コミッ
トメント・セラピー (ACT) の介入効果
の検討 (日本認知・行動療法学会第50回記
念大会, ポスター発表, 9月)

Ishikawa, S. From awareness to action:
Implementing universal prevention
programs in schools for diverse
mental health challenges. (10th
International Congress of Clinical
and Health Psychology, 招待講演, 11月)

Ishikawa, S., & Hudson, L. J. Cross-
cultural expressions of emotional
vocabulary in CBT Sessions for
childhood anxiety disorders: A
comparison between Australia and
Japan (The 58th Association for
Behavioral and Cognitive Therapies,
ポスター発表, 11月)

石川 信一 学校の中での認知行動療法 (第16
回日本不安症学会学術大会・第24回日本認
知療法・認知行動療法学会合同開催, 教育
講演, 7月)

石川 信一 学級規模で行う認知行動療法プロ
グラムの文化適応: フィンランドでの適応
を通して (第16回日本不安症学会学術大会・
第24回日本認知療法・認知行動療法学会合
同開催, シンポジウム, 7月)

石川 信一 心理職の教育と臨床での不安症
(第16回日本不安症学会学術大会・第24回
日本認知療法・認知行動療法学会合同開催,
シンポジウム, 7月)

石川 信一 学校は児童生徒のメンタルヘルス

のために何ができるか (日本教育心理学会
第66回総会, シンポジウム, 9月)

石川 信一 学級集団に対する認知行動療法
(日本認知・行動療法学会第50回記念大会,
ワークショップ, 9月)

石川 信一 子どものCBTのコツ (日本認知・
行動療法学会第50回記念大会, 企画・司会,
9月)

石川 信一 認知行動療法を通じた国際協働:
2027年アジア認知行動療法会議の日本開催
に向けて (日本認知・行動療法学会第50回
記念大会, シンポジウム, 9月)

石川 信一 認知行動療法における尺度開発の
これから (日本認知・行動療法学会第50回
記念大会, 指定討論, 9月)

李 受珉・戸谷 彰宏・清水 陽香・安部 主晃・
重松 潤・張 清源・神原 広平・阿部 夏希・
早瀬 良・杉浦 仁美・阿部 修士・中井 隆
介・柳澤 邦昭・中島 健一郎 環境の変化
が学生の孤独感と精神的健康に及ぼす中期
的影響——多母集団 RI-CLPM を用いた
分析 (日本社会心理学会第65回大会, ポス
ター発表, 8月31日)

Ito, A., & Muto, T. A possibility of ACT
intervention for Alexithymia in the
Japanese population. (33rd International
Congress of Psychology, Prague,
Czech Republic, ポスター発表, 7月23日)

岩野 卓・神原 広平・青木 俊太郎・川村 岳人・
渡邊 晴美 無作為化比較試験によるウェ
ルビーイング向上の介入——認知行動的介
入を用いた健常大学生に対するパイロット
スタディ—— (第22回日本ストレスマネジ
メント学術大会・研修会, ポスター発表,
8月24日)

Kambara, K., & Kira, Y. Rumination
diary promotes self-monitoring of
ruminative habits (33rd International
Congress of Psychology, Prague,
Czech Republic, ポスター発表, 7月23日)

神原 広平・吉良 悠吾 大学生はいつ反すうを

- しているのか? : 反すうの危険サインに関する調査 (日本認知・行動療法学会第50回記念大会, ポスター発表, 9月24日)
- 神原 広平・戸谷 彰宏・李 受珉・清水 陽香・安部 主晃・重松 潤・張 清源・阿部 夏希・早瀬 良・杉浦 仁美・阿部 修士・中井 隆介・柳澤 邦昭・中島 健一郎 反すうの抽象的处理様式はトランジション中の青年の孤独感を強める (日本青年心理学会第32回大会, ポスター発表, 11月19日)
- 川崎 紗和子・朝倉 智大・佐藤 寛・石川 信一 聴くスキルに焦点を当てたユニバーサルタイプの予防的ソーシャルスキルトレーニングによる高校生の社交不安症状への効果 (日本認知・行動療法学会第50回記念大会, ポスター発表, 9月)
- 川崎 紗和子・朝倉 智大・佐藤 寛・石川 信一 高校生におけるソーシャルスキルが聴く行動スキルを媒介して社交不安症状に与える影響 (日本心理学会第88回大会, ポスター発表, 9月)
- 木原 陽子・津田 菜摘・鳥居 深雪・谷口 あや・山口 創生 発達障害に対する周囲のスティグマ軽減のための認知・行動面へのアプローチについて (日本認知・行動療法学会第50回記念大会, 企画・話題提供, 9月)
- 岸田 広平・佐藤 寛・石川 信一 子どもの反抗挑発症に対する認知行動療法プログラム: 怒りに特徴的な認知の変容可能性 (第16回日本不安症学会学術大会・第24回日本認知療法・認知行動療法学会合同開催, ポスター発表, 7月)
- 岸田 広平・田辺 雄一・津田 征海・石川 信一 子どもと親の複数視点評定に基づく子どもの回避行動に関する検討 (日本認知・行動療法学会第50回記念大会, ポスター発表, 9月)
- Matsukawa, M., Ohya, A., & Muto, T. Building a model of Self as Context and Communication Skills (33rd International Congress of Psychology, Prague, Czech Republic, ポスター発表, 7月)
- 毛利 真弓 回復の実感と適応——出所後のインタビュー調査から—— (第23回トラウマティック・ストレス学会, 口頭発表, 8月)
- 毛利 真弓 拘禁刑の導入と施設内処遇・社会復帰支援のあり方——対人援助職に求められる役割と課題: 心理職の視点から (日本司法福祉学会第24回全国大会, 大会シンポジウムシンポジスト, 9月)
- 中島 匠・神原 広平 セルフ・コンパッションは教職員の努力——報酬不均衡を抑制するか (日本教育心理学会第66回総会, ポスター発表, 9月14日)
- 中西 彩巴・武藤 崇 心理的ウェルビーイングの向上を目的とした価値の明確化とコミットされた行為に焦点を当てたアプローチに関する効果の検討 (日本認知・行動療法学会第50回記念大会, ポスター発表, 9月)
- 大屋 藍子 糖尿病のセルフケア行動に対するアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) (日本心理臨床学会第43回大会, シンポジウム「糖尿病の心理臨床20——私の糖尿病心理臨床2——」, 9月28日)
- ポーター 倫子・山根 隆宏・鈴木田 英里 自閉スペクトラム症児と定型発達児の母親のメンタルヘルスに対するコーピングの影響 (日本自閉症スペクトラム学会第22回大会, ポスター発表, 8月)
- 笹川 宏樹・秦 一士・安井 知己・青木 佐奈枝・上松 幸一・佐藤 秀行・鈴木 常元 P-Fスタディ学生用の標準化に関する研究 (2)——スコアの評定者間一致度の検討—— (日本心理臨床学会第43回大会, ポスター発表, 8月)
- Shima, T. Preliminary study of a web-based self-help ACT program for mental health promotion among students (33rd International Congress of Psychology, ポスター発表, 7月)
- 嶋 大樹・伊藤 雅隆 臨床家がメタファー作成

- 時に留意する事項の探索——クライアントの「体験」に着目したテキストマイニングによる検討——(日本心理学会第88回大会, ポスター発表, 9月)
- 嶋 大樹 大学生の心理的健康の保持増進に対するセルフヘルプ ACT プログラムの改訂(日本認知・行動療法学会第50回記念大会, ポスター発表, 9月)
- 嶋 大樹 ACT 総論～パニック障害を例として～(第37回日本総合病院精神医学会総会, シンポジウム話題提供, 11月)
- 嶋 大樹 大学生の心理的健康保持増進のためのセルフヘルプ ACT (第28回人間行動分析研究会, 口頭発表, 3月)
- 清水 陽香・阿部 夏希・戸谷 彰宏・李 受珉・安部 主晃・重松 潤・張 清源・神原 広平・早瀬 良・杉浦 仁美・阿部 修士・中井 隆介・柳澤 邦昭・中島 健一郎 大学生活におけるソーシャル・キャピタルと精神的健康の関連(日本グループ・ダイナミクス学会第70回大会, ポスター発表, 8月24日)
- 鈴木田 英里・山根 隆宏 発達障害児をもつ家族を対象とした「家族の強みを活かす家族レジリエンス促進プログラム」の効果検証(日本発達心理学会第36回大会, ポスター発表, 3月)
- 鈴木田 英里・山根 隆宏 発達障害児をもつ家族の家族レジリエンス測定尺度の開発(日本心理臨床学会第43回大会, ポスター発表, 8月)
- Suzukida, E., & Yamane, T. Examination of the impact of family resilience on the psychological crisis among parents of children with developmental disabilities using cross-lagged model (33rd International Congress of Psychology, ポスター発表, 7月)
- 立川 彩優・石川 信一 児童用レジリエンス尺度の因子構造の検討(日本認知・行動療法学会第50回記念大会, ポスター発表, 9月)
- 戸谷 彰宏・李 受珉・清水 陽香・安部 主晃・重松 潤・張 清源・神原 広平・阿部 夏希・早瀬 良・杉浦 仁美・阿部 修士・中井 隆介・柳澤 邦昭・中島 健一郎 社会的・経時的比較はソーシャルサポート人数と孤独感の関連を強めるか(日本グループ・ダイナミクス学会第70回大会, ショートスピーチ, 8月24日)
- 戸谷 彰宏・李 受珉・清水 陽香・安部 主晃・重松 潤・張 清源・神原 広平・阿部 夏希・早瀬 良・杉浦 仁美・阿部 修士・中井 隆介・柳澤 邦昭・中島 健一郎 孤独とソーシャルサポートにおける個人内関係の検討——ランダム切片交差遅延パネルモデル(RI-CLPM)による分析(日本心理学会第88回大会, ポスター発表, 9月6日)
- 戸谷 彰宏・李 受珉・清水 陽香・安部 主晃・重松 潤・張 清源・神原 広平・阿部 夏希・早瀬 良・杉浦 仁美・阿部 修士・中井 隆介・柳澤 邦昭・中島 健一郎 縦断データを用いた孤独感に影響する諸要因の検討——2022年度データ(戸谷他, 2023)の追試検討(日本社会心理学会第65回大会, ポスター発表, 9月20日)
- 辻 菜乃子・真壁 瞳奈・石川 信一 共感性トレーニングと SST を組み合わせたプログラムが中学生の向社会的行動に及ぼす影響(日本認知・行動療法学会第50回大会, ポスター発表, 9月)
- 上田 紗津貴・岡部 史弥・板東 瑞季・川崎 紗和子・岸田 彩花・西川 梨絵・芝山 祐香・三重野 匠実・佐藤 寛 女子大学生に対する摂食症の予防的介入のランダム化比較試験(日本認知・行動療法学会第50回記念大会, ポスター発表, 9月)
- 八木 安理子 市における心理職の役割に関する実態調査——基礎自治体における心理職の役割と期待——(日本子ども虐待防止学会第30回学術集会所かがわ大会, 公募シンポジウム, 11月30日)
- 八木 安理子 要保護児童対策地域協議会にお

ける子どもの所属機関との連携の現状と課題（日本子ども虐待防止学会第30回学術集会かがわ大会，一般演題，12月1日）
安井 知己・秦 一士・笹川 宏樹・青木 佐奈枝・上松 幸一・佐藤 秀行・鈴木 常元 P-F
スタディ学生用の標準化に関する研究（1）
—— 図版の作成 ——（日本心理臨床学会第43回大会，ポスター発表，8月）

研究会活動

笹川 宏樹 対応のバリエーション（そだちと臨床研究会 企画・運営，2024年6月，10月，2025年3月）

笹川 宏樹 第42回ワークショップ・イン・神戸（そだちと臨床研究会 企画・運営，6月）

辻本 悠 完全主義の自己呈示が援助要請に与える影響——社会的孤立・孤独の予防を見据えた基礎的研究——（ソーシャル・モチベーション研究会サマーカンファレンス，武蔵野プレイス，口頭発表，8月22日）

八木 安理子 「ほめる力を考える」（第8回トリプルPジャパン研究会神戸大会，6月16日）

八木 安理子・安部 計彦・菅野 通英・渡邊 直他 「在宅支援共通アセスメント・プランニングシート活用ワークショップ」：在宅アセスメント研究会主催（1月12日）

講演・公開講座

石川 信一 「こどもとの関わりに認知行動療法などの視点を生かす」（和歌山県教育委員会主催令和6年度教育相談研修講座B，8月）

石川 信一 「学校で実践できる児童・生徒のメンタルヘルス予防教育プログラム」（練馬区教育委員会主催学校教育相談研修，8月）

石川 信一 「こどもとの関わりに認知行動療法などの視点を生かす」（立川市第七小学校「ことばの教室」研修会，8月）

石川 信一 「メンタルヘルス予防教育プログラム「こころあっぷタイム」」（兵庫県公認心理師会主催研修会「エビデンスに基づく子どもの心理的支援やペアレントトレーニング

グ」，12月）

石川 信一 「しなやかな心を育てるために～認知行動療法から学ぶ～」（第12回精神障がい親と暮らす全国版子どもの集い・交流会，2月）

石川 信一 「学校で行う子どもに対する集団認知行動療法」（NPO 日本教育カウンセラー協会2024年度第2回研修会，2月）

石川 信一 「学校で生かす認知行動療法研修講座」（和歌山県教育センター学びの丘が実施する「専門性の向上を目指す研修（選択研修）」，3月）

菊田 和代 「産業心理職がプレゼンティズムの改善を目指してみました」（組織行動・産業心理臨床勉強会，3月）

毛利 真弓 「犯罪行動からの回復支援——刑務所内治療共同体の実践から——」（常磐大学心理臨床センター講演会，7月）

毛利 真弓 「性問題行動のある子どもの理解と支援」（常磐大学心理臨床センター研修会，7月）

毛利 真弓 「対話による治療：回復共同体の試み——受刑者が自分の感情に向き合い次の生き方を選択するまで」（神奈川県発達臨床心理士研修会，9月）

毛利 真弓 「性問題行動の理解と対応の基礎」（広島大学心理臨床セミナー，11月）

毛利 真弓 「性非行少年の見立てと対応について」（高松家庭裁判所研修，2月）

毛利 真弓 「対話と尊重の文化をつくる——修復的対話実践」（京都 YWCA 公開講座，3月）

中島 匠 「教員の立場からみる学校における多職種連携」（日本未病学会メンタルヘルス部会「メンタルヘルス領域のための多職種連携はじめの一步 Part II 研修会」，12月）

興津 真理子 「里親委託のこどもが感じる『家族』を体感してみよう」（令和6年度大阪市里親スキルアップ研修，11月7日）

興津 真理子・古川 秀明・早樫 一男 「家族造形ワンデイワークショップ2024」（家族援

- 助を目指す人のための研修会, 9月21日, 3月8日)
- 興津 真理子 「心理臨床の実践と学び——学部・大学院で何を学ぶか——」(同志社大学心理学部父母会地方懇談会, 9月7日)
- 笹川 宏樹 「子ども虐待対応3——DVのある虐待ケースへの対応」(指導教育担当児童福祉司任用前研修【オンライン】[法定研修], 子どもの虹情報研修センター, 1月15, 29日)
- 笹川 宏樹 「分科会②アズ・イフ・コンサルテーション」(全体会私たちが大切にしてきたもの)(児童相談所とその近接領域における家族療法・家族援助の実際 第32回研修会 in 徳島, 第32回研修会実行委員会, 1月25, 26日)
- 嶋 大樹 「すいすい学べる認知行動療法オンラインゼミ」(日本公認心理師ネットワーク, 第1期:4月-9月, 第2期:11月-4月)
- 嶋 大樹 「言葉のチカラ」(稲美町商工会オープンセミナー, 1月29日)
- 八木 安理子 児童相談所長研修「前期:要保護児童対策地域協議会の活用等関係機関との連携~こども家庭センター設置におけるより有効的な連携に向けて~」, (子どもの虹情報研修センター, 4月25日)
- 八木 安理子 こども家庭センター統括支援員研修「関係機関との連携~コーディネート役割~」, (子どもの虹情報研修センター, 5月16日)
- 八木 安理子 「こども家庭センターにおける統括支援員の役割」統括支援員指導者・研修企画者養成研修 in 仙台・名古屋(西日本こども研修センターあかし, 5月29日・6月13日)
- 八木 安理子 「児童福祉領域における公認心理師の基本」(福祉分野委員会 児童福祉領域研修会基礎コース, 日本公認心理師協会, 6月9日・1月19日)
- 八木 安理子 こども家庭センター職員(基礎「サポートプランの作成, 面接技術(講義・演習)」, 東京都特別区職員研修所, 6月3日)
- 八木 安理子 「共通リスクアセスメント手法の標準化について」(大阪市スキルアップ研修, 7月5日)
- 八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会の運営・会議の運営とケース管理」(大阪市法定研修, 7月9日・9月19日)
- 八木 安理子 「子ども・家庭福祉における福祉実践と福祉行政の役割」(令和6年度福祉行政職員初任者研修, 公立大学法人岩手県立大学, 7月30日)
- 八木 安理子 「こども虐待のないまちづくり——要対協の役割や市町村の工夫——」(NPO 法人子どもと家族のQOL 研究センター, 8月3日)
- 八木 安理子 5分野基礎研修「子育て支援と心理職の役割」(日本公認心理師協会, 8月19日)
- 八木 安理子 「虐待を発見した時に~事例から考えるかかわりの難しい保護者の対応~」(富田林市要保護児童対策地域協議会研修, 8月20日)
- 八木 安理子 「子ども虐待対応における面接~状況の理解とバリエーション~」: 児童虐待防止研究会(高槻市総合支援センター, 8月27日)
- 八木 安理子 「虐待の初期対応について~面接の工夫やつながっていくための工夫~」(石川県家庭相談員連絡協議会第1回研修会, 8月29日)
- 八木 安理子 「こどもを支援するということは?——継続的な地域の支援を目指し, 事例を通して考える——」(令和6年度松山市要保護児童対策地域協議会研修, 9月3日)
- 八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会の運営」(令和6年度堺市要保護児童対策調整機関の調整担当者研修, 9月10日)
- 八木 安理子 「こども家庭センターの役割について~地域におけるこどもと家族の支援とは~」(京都市こども家庭センター研修, 9月13日)
- 八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会の運

営～在宅支援と市町村こども家庭支援を中心～」（新潟県令和6年度児童福祉司任用前講習会及び要保護児童対策地域調整担当者研修，9月17日）

八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会の活用等関係機関との連携」（令和6年度岐阜県，市町村要保護児童対策調整機関の担当者研修，10月4日）

八木 安理子 「こども家庭福祉とソーシャルワークⅢ 地域を基盤とした多職種・多機関連携による包括的支援体制の構築」：こども家庭ソーシャルワーカー指定演習（こども家庭ソーシャルワーカー・スタートアップコンソーシアム早稲田大学，早稲田大学・徳島文理大学・一陽，9月29日・10月14日・11月28日）

八木 安理子 「こども家庭センターの役割とこれから——基礎自治体だからできること，そして，心理職だからできること——」（目黒区令和6年度こども家庭支援センター職員研修，9月30日）

八木 安理子 「こども家庭センターにおける心理職の業務と役割～これまでの実践，そして全国調査からみえる心理職の展望～」（東京都特別区職員研修所，9月30日）

八木 安理子 「三重県令和6年度統括支援員実務研修会」（三重県子ども・福祉部児童相談支援課，12月12日）

八木 安理子 「要保護児童・要支援児童家族への家庭への支援～事例から考える拒否的な保護者の対応～」（令和6年度守谷市子ども家庭支援ネットワーク協議会第2回実務者会議，12月20日）

八木 安理子 「子どもの心に届く言葉がけ～先を見通した子育てのヒント～」：第19回子育てエッセンス（三田市子ども家庭課，12月22日）

八木 安理子 「子どもの心が育つ地域づくり～子どもをとりまく私たち一人ひとりができること～」（令和6年度宮城県子ども虐待対策連絡協議会，1月23日）

八木 安理子 「こども家庭センターの役割や実践について～市町村だからできること～支援を目指して～」（令和6年度和歌山県市町村こども家庭支援担当職員研修，1月28日）

八木 安理子 「第20回子育て支援講座 子どもをこのころを聴く」（臨床心理士子育て支援合同委員会，1月25日）

八木 安理子 「不登校状態にある要保護児童とその家庭への支援～関わりの困難な事例から考える～」（京都市こども家庭センター研修（2），1月31日）

八木 安理子 令和6年度堺市統括支援員実務研修（堺市子ども青少年局，2月27日）

八木 安理子 「児童虐待はなぜ起きるのか，児童虐待を防止するため民生委員・児童委員，主任児童委員ができること」（大阪市民生委員児童委員協議会，2月28日）

八木 安理子 「統括支援員に求められている役割と取組の実際～こども家庭センターの効果的な運営に向けて～」（令和6年度岡山県統括支援員実務研修，3月12日）

八木 安理子 令和6年度秋田県こども家庭センター等実務者研修（秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課，3月18日）

その他

石川 信一 「こころあっぷ指導者養成研修会 2024年度（夏）」（一般社団法人青少年のための心理療法研究所主催「子どものためのメンタルヘルス予防教育プログラムの指導者養成研修会」，7月）

石川 信一 「こころあっぷ指導者養成研修会 2024年度（春）」（一般社団法人青少年のための心理療法研究所主催「子どものためのメンタルヘルス予防教育プログラムの指導者養成研修会」，3月）

毛利 真弓 性的問題行動等困難ケースにかかるスーパーバイズ（京都府立洪陽学校 月1回）

笹川 宏樹 児童相談所第三者評価業務委託（日本児童相談業務評価機関 J-Oschis，7月，

10月, 11月)

笹川 宏樹 大阪市要保護児童対策地域協議会
機能強化事業スーパーバイザー派遣(NPO
法人 児童虐待防止協会) 全14回

八木 安理子 河内長野市こども家庭総合支援
拠点SV研修会(SV, 河内長野市, 年2回)

八木 安理子 西日本こども研修センターあか
し企画評価委員(委員委嘱, 年2回)

八木 安理子 西日本こども研修センターあか
し統括支援員指導者養成研修の検討にかか
るワーキンググループ委員(委員委嘱)

八木 安理子 堺市社会福祉審議会児童福祉専
門分科会子ども虐待検証部会(委員委嘱,
年2回)

八木 安理子 奈良市児童虐待防止施策検討会
議(委員委嘱)

梅澤友香里

(実証に基づく心理・社会的トリートメン
ト研究センター 嘱託研究員)

相談員

金 逸蓉(心理臨床センター)

米澤 里奈(心理臨床センター)

公認心理師資格取得コーディネーター

樋口由紀子(心理臨床センター)

相談研修員

松岡 里紗

(心理学研究科博士課程後期課程)

木原 陽子

(心理学研究科博士課程後期課程)

辻本 悠

(心理学研究科博士課程後期課程)

伊藤 綾音

(心理学研究科博士課程後期課程)

松川 昌憲

(心理学研究科博士課程後期課程)

中島 匠

(心理学研究科博士課程前期課程)

東 遥菜

(心理学研究科博士課程前期課程)

後藤 美結

(心理学研究科博士課程前期課程)

岸本 綾音

(心理学研究科博士課程前期課程)

久保 夏蓮

(心理学研究科博士課程前期課程)

中西 彩巴

(心理学研究科博士課程前期課程)

立川 彩優

(心理学研究科博士課程前期課程)

韓 悦琪

(心理学研究科博士課程前期課程)

川崎紗和子

(心理学研究科博士課程前期課程)

齋田 唯

(心理学研究科博士課程前期課程)

佐藤 綾音

(心理学研究科博士課程前期課程)

13. 2024年度構成員

センター長

青山謙二郎(心理学部 教授)

副センター長

興津真理子(心理学部 教授)

指導相談員

石川 信一(心理学部 教授)

神原 広平(心理学部 助教)

毛利 真弓(心理学部 准教授)

武藤 崇(心理学部 教授)

大屋 藍子(心理学部 准教授)

杉若 弘子(心理学部 教授)

鈴木田英里(心理学部 助教)

八木安理子(心理学部 客員教授)

特任指導員

笹川 宏樹(心理学部 嘱託講師)

菊田 和代

(実証に基づく心理・社会的トリートメン
ト研究センター 嘱託研究員)

嶋 大樹

(実証に基づく心理・社会的トリートメン
ト研究センター 嘱託研究員)

2024年度心理臨床センター活動報告

藤堂 有絢

(心理学研究科博士課程前期課程)

辻 菜乃子

(心理学研究科博士課程前期課程)

浦 瑞紗

(心理学研究科博士課程前期課程)

阿部 望

(心理学研究科博士課程後期課程修了生)

有木京志郎

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

船津 萌実

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

肥田乃梨子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

伊井 彩郁

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

牧野 未菜

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

中島 香

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

中西 智愛

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

西尾 悠佑

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

清水 優美

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

高村 朋加

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

田原 一樹

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

八谷 勇斗

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

横井 沙郁

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

吉松 澄音

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)